

平成29年度 横浜立野高等学校 不祥事ゼロプログラム実施状況

○ 項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
法令順守	教育公務員としての自覚を持つ。	各種報道、資料等を活用し、具体的な事例を通じて日常的な意識啓発、注意喚起を行った。
わいせつ・セクハラ行為の防止	人権に配慮し、わいせつ・セクハラ行為を未然に防止する。	資料を活用し、具体的な事例を通じて意識啓発、注意喚起を行った。 携帯電話や電子メールの不適切な使用をしないよう、ルールの徹底を行った。
体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重し、体罰・不適切指導の発生を未然に防止する。	資料を活用し、具体的な事例を通じて意識啓発、注意喚起を行った。 体罰調査により体罰がなかったことを確認した。
成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	成績処理や調査書作成等での事故やミスが起こらないよう体制を整える。	資料を活用し、具体的な事例を通じて意識啓発、注意喚起を行った。 申し合わせ事項に則った事務処理を行うよう、職員相互に声を掛け合った。
個人情報等の管理・情報セキュリティ対策	個人情報の流出を未然に防止する。	資料を活用し、具体的な事例を通じて意識啓発、注意喚起を行った。 生徒個人情報の取得に関しては特に調査も行き、周知徹底した。
交通事故、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通事故、酒酔い、酒気帯び運転を未然に防止する。	資料を活用し、具体的な事例を通じて意識啓発、注意喚起を行った。
会計事務等の適正執行	適正な私費の徴収・執行を行い、私費会計事故の発生を未然に防止する。	資料を活用し、具体的な事例を通じて意識啓発、注意喚起を行った。 会計担当者会議を開き、適正な会計事務手続きについて周知した。
入学者選抜業務	正確・公正な入学者選抜業務を行う。	複数回にわたる研修会や校内入選要項の読みあわせ等により、業務内容の周知・徹底をした。

○ 平成29年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び平成30年度に取り組むべき課題

(学校長意見)

必要に応じて事故防止全体会議（研修）を行い、意識啓発資料の配付やチェック実施、教育長通知の掲示等を通して、タイムリーな話題や課題に対応できるように実施し、自分のこととして問題を捉える雰囲気醸成した。

30年度においては、成績処理・調査書作成に係る事故防止並びに私費会計の適正執行に一層の力を入れたい。